

日本子ども虐待防止学会第17回学術集會いばらき大会ご案内

～ メインテーマ「子ども虐待の予防を考える」 ～

会期：2011年12月2日（金）・3日（土）

会場：つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）

大会長：宮本信也（筑波大学）

実行委員長：坂本博之（坂本博之法律事務所）

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された方々及び未だ避難生活をされておられる方々へお見舞い申し上げます。

今回のいばらき大会の中心テーマは「子ども虐待の予防」です。虐待の予防は、自殺の予防と同じくすぐにはその効果が見えないものです。国際プログラムでは、虐待の予防プログラムの効果を実証的に検証されたお話がうかがえるものと思います。国際プログラムは学術集会2日目に行い、学術集会にご参加の方は無料でご参加いただけます。

いばらき大会は、発表と研修という2つの柱でプログラムを企画しております。「発表」に関しては、これまで以上に一般演題を重視することといたしました。おかげさまで、ポスター発表も含めると一般演題は100題近くとなりました。

茨城県・つくば市とも今回の震災の被災地であり、復興活動が行われているとはいえ、まだその途上にある状況です。そのような情勢下、私ども関係者一同、日本子ども虐待防止学会いばらき大会開催に向け、気持ちを合わせて準備に当たっております。

今回は、震災の影響もあり、参加される方々が例年より少なくなるのではと危惧しております。みなさまには、是非ともいばらき大会にご参加いただきたくお願い申し上げます。

【大会参加事前申込み】

大会ホームページ（<http://www.jaspcan.org/2011ibaraki/index.html>）にて参加事前申込み及び宿泊等の受付を行っております。宿泊をご予定の方は、つくば市内での宿泊施設には限りがありますので、お早めにお申し込みください。なお、学会への参加は、当日のお申し込みでも可能です。

【分科会等の事前参加申込みは行いません】

くまもと大会と同様、今回も分科会等への事前参加申込みは行いません。当日の先着順となりますのでご了解ください。

【事例検討会のみ事前参加申込みが必要です】

12月2日18:30～20:30に学会員限定の事例検討会を行います。参加ご希望の方は「往復

はがき」でお申し込みください。1枚の往復はがきでのお申し込みは1名に限ります。また、所属・職種の記載がない場合も、守秘義務の関係上、申し込みを受け付けられませんのでご了解ください。

事例検討会への参加をご希望の方は、以下の要領にて往復ハガキでお申し込みください。申し込み締め切り日は11月10日とします。なお、参加は申し込み順とさせていただきますのでご了承ください。参加可能の有無につきましては、返信ハガキで回答させていただきます。参加の方は、当日、回答ハガキをご持参ください。

往信宛先：〒305-8575

茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 小児科秘書室内
JaSPCAN いばらき大会事務局

往信文面：①希望事例検討会番号（第2希望まで記載可）

（記載例：第1希望：事例検討会2、第2希望：事例検討会1など）

②所属、③氏名、④会員番号 ⑤職種、⑥連絡先住所、⑦メールアドレス

返信宛名面：申込者の住所・氏名

返信文面：希望事例検討会番号（往信文面に記載したものと同一のもの）

事例検討会：（ ）内は参加可能人数

事例検討会1(200)：加害者と被害児の主張が対立した性虐待の2事例

事例検討会2(100)：複数の医療機関が関与し保護に時間がかかった事例

事例検討会3(100)：児の精神障害が執拗に訴えられMSBPも疑われた事例

※事例の概要につきましては、いばらき大会ホームページ上のパスワード付きのページでご覧いただけます。パスワードは、メールマガジンで会員に配信されます。なお、JaSPCAN学会メールマガジンに登録されていない方は、いばらき大会事務局ではなく、**JaSPCAN 本体の事務局**にお問い合わせください。

メールマガジンに関する問い合わせ先：info@jaspcan.org FAX 03-3440-2581

【学会に関する問合せ】 JaSPCAN いばらき大会事務局

jaspcan17ibaraki-adm@umin.ac.jp

FAX：029-853-8819

【会場へのアクセス】

つくば国際会議場 (<http://www.epochal.or.jp/>)

つくばエクスプレスつくば駅・つくばセンター、いずれからも徒歩10分

【交通】

○つくばエクスプレス

秋葉原駅 → つくば駅（快速で45分）

○高速バス (http://www.kantetsu.co.jp/bus/highway/highway_index.html)

東京駅 八重洲南口より「つくばセンター」あるいは「筑波大学」行き（75分）

- 羽田空港 「つくばセンター」行き (85~100分)
成田空港 「つくばセンター」行き (85~100分)
茨城空港 「つくばセンター」行き (60分)

茨城空港からつくば国際会議場までの無料送迎サービスがあります。事前申込み制です。
ご希望の方は、大会事務局まで以下の要項でメールにてお申し込みください。メールの自動振分けをしますので、件名は必ず以下のようにしてください。

申込み締切：2011年11月11日（この日以降は受け付けません）

メールの件名：無料送迎サービス希望

記入内容：氏名、連絡先、携帯電話番号（当日の連絡用）、搭乗飛行機便、
空港到着日時（往復希望の場合は帰りの航空便と日時）

日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）第17回学術集會いばらき大会

プログラム概要（一部調整中を含む）

（演題名・所属名を誌面の関係で短縮させていただいております。よろしくご了承をお願いいたします。）

平成23年12月2日（金）（1日目）

- 9:00-9:30：開会式 開会のことば
開催自治体首長挨拶：茨城県知事・つくば市長
- 9:30-10:30：行政説明 厚生労働省・法務省
- 教育講演
- 10:40-11:55：「子ども虐待と政策・経済」
- (1)「子ども虐待対策の政策評価—調査研究から政策まで」 和田一郎（茨城県土浦児童相談所）
(2)「子ども虐待に関するサービス提供の実態と課題」 有村大士（日本子ども家庭総合研究所）
- 13:45-15:45：E-1「虐待死を防ぐ」 才村 純（関西学院大学）
- 16:00-18:00：E-2「虐待による頭部外傷の予防について」 藤原武男（成育医療研究センター）
- 12:00-12:30：総会
- 12:30-13:40：MTE (Meet the Expert)
- 「DV と虐待はつながっている」 信田さよ子（原宿カウンセリングセンター）
- 13:05-13:35：歌唱 「野口雨情の世界（仮題）」 市村真美
- 13:45-18:00：特別企画 「災害と社会的養護を必要とする子どもたち」
- 第一部 被災時における子どもの心のケア
第二部 被災地の状況と支援の方向
- 特別プログラム
- 13:55-15:55：P-1「依存症やDV 被害の中で暮らすことの困難さを、子どもたちや親世代が語ります。」
上岡陽江（女性ダルクハウス）他
- 16:20-18:00：P-2『「関係性」からみた子ども虐待』 斎藤 環（医療法人爽風会佐々木病院）
- 評価・支援の方法を学ぶ
- 13:45-15:45：L-1「虐待予防のための保育士研修プログラム」

阿部真紀（NPO 法人エンパワメントかながわ）他

16:00-18:00 : L-2 「サインズ・オブ・セーフティ（SoS）－新しいボトルに前の同じ酒を入れないために－」中尾賢史（さいたま市児童相談所）他

18:30-20:30 : V-1 「虐待やDVを行う父親に対するグループプログラム“ナイス”」
森田展彰（筑波大学）他

○分科会

13:45-15:45 :

T-1 「つまずきに届く支援－発達障害と虐待－」 田中 哲（東京都立小児総合医療センター）他

T-2 「母子保健から発信しよう！虐待予防の大切さ」加藤美穂子（愛知県瀬戸保健所）他

T-3 「社会的養護の現状と課題・今後の在り方について考える」前田徳晴（救世軍希望館館長）他

A-1 『里親委託を進める』ために乗り越えるべきハードルは何か」宮島 清（日本社会事業大学）他

A-2 「市町村の積極的なペアトレ実施による虐待予防の可能性について」渡邊 直（銚子児童相談所）他

A-3 「児童福祉施設における性暴力・性支配・性虐待への対応」小木曾 宏（房総双葉学園）他

A-4 「乳児ゆさぶられ症候群の基礎的知識と予防教育」松岡典子（サポートセンターみつくみえ）他

A-5 「虐待回復プログラム受講後の親子支援の強化」森田ゆり（エンパワメント・センター）他

16:00-18:00 :

T-4 「臓器移植と子ども虐待」（仮題） 山田 不二子 氏（子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク）

A-6 「里親制度の推進に向けて」松崎佳子（九州大学）他

A-7 「親子の関係性に焦点づけた評価と援助を提供するプログラム」北川 恵（甲南大学）他

A-8 「児童相談所の保健師が果たしてきたもの、そしてこれから」出石珠美（横須賀市子ども育成部）
他

A-9 「虐待を受けた子どもたちの自立支援」土井一成（子どもシェルターモモ）他

A-10 「社会的養護の施設における性暴力ネットワークへの取り組みⅡ」吉野りえ（同仁学院）他

A-11 「子ども虐待と動物虐待」古荘純一（青山学院大学）他

A-12 「地域におけるトリプル P（前向き子育てプログラム）の展開」柳川敏彦（和歌山県立医科大学）
他

18:30-20:30 :

A-13 「子どもの司法面接」菱川 愛（東海大学）他

A-14 「乳幼児健康診査の現状と今後の姿」中板育美（国立保健医療科学院）他

A-15 「子育て虐待防止電話・メール相談の取り組みと課題」

兼田智彦（日本子どもの虐待防止民間ネットワーク）他

A-16 「児童虐待予防における親支援プログラムの役割について」柴田俊（常葉学園浜松大学）他

A-17 「発達障がいと虐待」原 佐知子（障がい児者の医療を考える会がじゅまる）他

A-18 「第三者の関わる生殖技術により生まれた子どもの知る権利」才村眞理（帝塚山大学）他

○一般演題（口演）

13:45-15:15 : G0-A 「医療」

G0-A1 「虐待予防に訪問看護師が関わり続けることの大切さ」辻 紀子（訪問看護ステーションモモ）他

G0-A2 「胎児虐待する母親と精神科治療」高橋 知久（防衛医科大学校）他

- G0-A3 「救急外来における「児童虐待」への認識」長谷川聡美（総合病院国保旭中央病院）他
- G0-A4 「聖隷浜松病院 児童虐待防止学会（CAPSS）10年の歩み」森田句妹子（聖隷浜松病院）他
- G0-A5 「子ども虐待予防における医療施設と地域の連携の課題」中山久美子（聖母会聖母病院）他
- G0-A6 「小児専門医療機関における虐待症例のリスク因子の検討」
田上幸治（神奈川県立こども医療センター）他
- 15:30 -16:45 : G0-B 「教育」
- G0-B1 「子ども虐待を防ぐ学校とスクールソーシャルワークの可能性」西野 緑（関西学院大学）他
- G0-B2 「学校におけるファミリー・バイオレンス予防教育に関する研究
ー法教育を通じた修復的実践プログラムの展開可能性ー」宿谷 晃弘（東京学芸大学）他
- G0-B3 「『見えにくい虐待』を、学校で発見するための観察項目の検討」米澤篤代（首都大学東京）
- G0-B4 「幼稚園・小学校でのいのちの学習による虐待予防」澤田由紀子（四万十町役場健康福祉課）
- G0-B5 「児童養護施設で暮らす子ども達の学力・生きる力アッププロジェクト」
鈴田 愛（若者支援事業団）
- 17:00-18:00 : G0-C 「子育て支援1」
- G0-C1 「市役所における児童虐待予防に関する取り組み」平田真一（伊勢原市役所児童相談センター）
他
- G0-C2 「心理・発達面に困難を抱えた子どもたちの居場所づくり・支援者育成の実践」
阿部美和子（混合療育を考える会）他
- G0-C3 「被虐児の一時保護所における口腔診査と歯科保健指導」森岡俊介（森岡歯科医院）他
- G0-C4 「児童虐待における予防的支援についての検討」小笠原知子（神奈川県精神保健福祉センター）
- 18:15-19:45 : G0-D 「子育て支援2」
- G0-D1 「養育者の認知・感情・行動記載による養育行動の客観的評価と支援ポイントの明確化」
二宮恒夫（徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部）他
- G0-D2 「こども虐待対応における一義的窓口が行う初回訪問に関する一考察」
小泉 誠（相模原市中央こども家庭相談課）他
- G0-D3 「市町村を中心とする子ども家庭福祉行政実施体制再構築に関する研究」
佐藤まゆみ（和洋女子大学）
- G0-D4 「グループ・インタビュー法を用いた虐待予防事業（NP 子育て支援講座）の評価と今後の課題に関する研究」望月由妃子（筑波大学）他
- G0-D5 「子どもへの虐待と放任に関する認識」林 友紗（慶應義塾大学）他
- G0-D6 「奈良県における公立保育所・幼稚園に所属しない4・5歳児の実態」
佐藤拓代（大阪府立母子保健総合医療センター）他
- 一般演題（ポスター）
- 16:00-17:30 : GP-A 「医療」
- GP-A1 「看護師の虐待予防的活動状況に関する検討 その2」
大島ゆかり（大阪府立母子保健総合医療センター）他
- GP-A2 「看護師の虐待予防的活動状況に関する検討」森山浩子（大阪府立母子保健総合医療センター）
他
- GP-A3 「東京都立小児総合医療センターにおける虐待事例への対応（第2報）」
間宮規子（東京都立小児総合医療センター）他

- GP-A4 「代理によるミュンヒハウゼン症候群の疑いのある家族への対応の検討」
河野 司（千葉県こども病院）他
- GP-A5 「A病院における子ども虐待への取り組み」 土屋まゆみ（釧路赤十字病院）他
- GP-A6 「病院職員が虐待対応への関心を維持するための工夫」 和田英男（公立能登総合病院）他
- 16:00-17:30：GP-B 「児童福祉施設の現状」
- GP-B1 「児童養護施設におけるケアワーカーの離職について」 大塚 斉（武蔵野児童学園）他
- GP-B2 「児童福祉施設に勤務する職員のバーンアウト要因の検討」
新美裕之（阪南福祉事業会あゆみの丘）他
- GP-B3 「開設後1年が経過した情緒障害児短期治療施設の状況」 丹羽健太郎（那須子どもの家）他
- GP-B4 「児童福祉施設における支援困難ケースの現状と課題に関する質的分析」
塩見 守（清水が丘学園）他
- GP-B5 「A情緒障害児短期治療施設入所児童の臨床像」 安藤みゆき（茨城女子短期大学）他
- 16:00-17:30：GP-C 「妊婦・乳幼児への援助」
- GP-C1 「乳児家庭全戸訪問事業の実施状況と課題」 三橋美和（京都府立医科大学）他
- GP-C2 「6か月未満乳児と母へのグループ支援のプログラムの効果」
大北啓子（北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee）他
- GP-C3 「未妊婦健診妊婦に対する虐待防止に関する検討」 永澤規子（さいたま市立病院）他
- GP-C4 「NICU入院児の母親の心理面への支援」 深谷美紀子（茨城県立子ども病院）他
- 16:00-17:30：GP-D 「関係機関の連携」
- GP-D1 「県行政における虐待対応ネットワーク形成への役割と施策に関して」
沼田直子（石川県少子化対策監室）他
- GP-D2 「世代間連鎖がある支援困難なネグレクト家庭への支援のありかたについて」
牧野 忍（豊橋市役所子育て支援課）他
- GP-D3 「医療機関と地域関係機関との連携に関する検討」
久野千恵子（あいち小児保健医療総合センター）他
- GP-D4 「家庭的養護を担う人材養成研修のプログラム開発と試行」 橋本愛美（子どもの村福岡）他
- GP-D5 「児童虐待年齢別件数の分析による効果的な啓発の試み」
八木安理子（枚方市家庭児童相談所）他

○18:30-20:30：事例検討会

- 事例検討会 1 加害者と被害児の主張が対立した性虐待の2事例
- 事例検討会 2 複数の医療機関が関与し保護に時間がかかった事例
- 事例検討会 3 児の精神障害が執拗に訴えられMSBPも疑われた事例

平成23年12月3日（土）（2日目）

- 10:30-12:00：特別講演 「ひとりぼっちの私が市長になった」 草間吉夫（茨城県高萩市市長）
- 14:45-17:15：国際プログラム 「子ども虐待の予防法としての家庭訪問プログラム」
David Olds（コロラド大学）・佐藤拓代（大阪府立母子保健総合医療センター）
- 教育講演・教育プログラム
- 9:00-10:20：

E-2 教育をめぐるマルトリートメント」 武田信子（武蔵大学） 他

E-3 「親権のとらえ方（親への対応について）」 岩城正光（あかつき法律事務所）

10:30-12:00 : E-4 「司法面接 ―児童福祉領域における法的な被害事実確認について―

山本恒雄（日本子ども家庭総合研究所） 他

13:10-15:10 : E-5 「児童虐待における教育現場の予防的意義 ―スクールソーシャルワークの可能性―

山野則子（大阪府立大学） 他

○9:00-10:20 : MTE (Meet the Expert)

「社会的養護の当事者活動・退所後支援からみえる，子どもたちのニーズ」 渡井さゆり（日向ぼっこ）

○12:40-13:10 : フルート演奏会 「子どもの世界（仮題）」 綱川泰典

○13:10-15:10 : NPO 団体フォーラム 「虐待の予防―民間団体のできること」

(1) 20年のあゆみ NPO 法人児童虐待防止センター

(2) 大震災と虐待予防 NPO 法人（宮城または福島から）

(3) 地域での虐待予防 NPO 法人いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい

○「評価・支援の方法を学ぶ」

10:10-12:10 :

L-3 「家庭訪問支援者の研修とその評価」 桐野由美子（京都ノートルダム女子大学） 他

L-4 「児童養護施設の未就学児童を対象としたアタッチメントに焦点をあてた介入」

徳山美知代（静岡福祉大学） 他

13:10-15:10 :

L-5 「これから真実告知・ライフストーリーワークを行うあなたへ」 山本智佳央（三重県中勢児童相談所） 他

L-6 「DV 被害を受けた母親と子どもへの包括的支援の方法」 春原由紀（武蔵野大学） 他

15:20-17:20 :

L-7 「アタッチメントとトラウマに焦点をあてた心理療法プログラム」 西澤 哲（山梨県立大学） 他

L-8 「Nobody's Perfect 『完璧な親なんていない』 のファシリテーションについて学ぶ」

望月由妃子（筑波大学） 他

L-9 「私たちは『加害者』とどのように関わることが出来るだろうか？」

高橋郁絵（RRP 研究会/原宿カウンセリングセンター） 他

○分科会

10:10-12:10 :

T-5 「子ども虐待の予防を考える（第一部）」 島田洋子（松葉産婦人科） 他

10:25-12:20 :

A-19 「社会的不利な状況にある子どもと親・家族への保健師の支援」 上野昌江（大阪府立大学） 他

A-20 「訪問型子育て支援ボランティア（ホームスタート）の効果と課題」 西郷泰之（大正大学） 他

A-21 「児童相談所における専門性の確保，向上のあり方を考える」

川崎二三彦（子どもの虹情報研修センター） 他

A-22 「当事者参画と日本版ファミリーグループカンファレンス」 林 浩康（日本女子大学） 他

A-23 「障害児施設における被虐待児への対応」 米山 明（心身障害児総合医療療育センター） 他

A-24 「子どもへの暴力防止教育研究(2)」 内海崎貴子（川村学園女子大学） 他

13:10-15:10 :

T-6 「子ども虐待の予防を考える (第二部)」 中林貴紀 (茨城県福祉相談センター) 他

T-7 「看護と子ども虐待 (仮題)」 (演者 交渉中)

A-25 「被虐待の子どもの非行化への対応における社会福祉と司法の協働」

藤原正範 (鈴鹿医療科学大学) 他

A-26 「ネグレクト支援に市町村ができること」 安部計彦 (西南学院大学) 他

A-27 「親権制度の見直し (民法等の一部を改正する法律施行) の今後について」

栗原直樹 (十文字学園女子大学) 他

A-28 「学校の中の性暴力と二次被害」 亀井明子 (SSHP 全国ネットワーク) 他

15:20-17:20 :

T-8 「大人になったら学校の先生になりたい」 玉井邦夫 (大正大学) 他

A-29 「子ども虐待診断および多機関連携における医療機関のあり方について」

山田不二子 (子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク) 他

A-30 「児童相談所一時保護所における子どもの暴力問題の捉え方と『危機管理実践マニュアル』の提起」

浅井春夫 (立教大学) 他

A-31 「急速な国際化と子ども虐待」 北野尚美 (和歌山県立医科大学) 他

A-32 「虐待対応における人材育成」 増沢 高 (子供の虹情報研修センター) 他

A-33 「児童相談所におけるサインズ・オブ・セイフティ・アプローチの活用」

井上直美 (サインズ・オブ・セイフティ研究会) 他

A-34 「平成 23 年民法等改正の評価と展望」 磯谷文明 (くれたけ法律事務所) 他

○一般演題 (口演)

9:00-10:00 : G0-E 「周産期」

G0-E1 「DV 目撃による心理的虐待の通告増加に伴う周産期子ども虐待一次予防法の検討」

大西節子 (徳島大学病院) 他

G0-E2 「周産期からの予防について」 北島博之 (大阪府立母子保健総合医療センター) 他

G0-E3 「お産と母と子の絆」 桑原 勲 (創愛クリニック) 他

G0-E4 「妊娠期からの虐待防止支援の実態とその課題」 大貫真知子 (筑波大学附属病院)

9:00-10:00 : G0-F 「子育て支援 3」

G0-F1 「母の生育歴に焦点をあてた面接が育児困難感の改善につながった 1 例」

池田麻莉 (慶應義塾大学病院) 他

G0-F2 「援助を求めない攻撃的・拒否的な養育者へのアウトリーチ」 高岡昂太 (千葉大学)

G0-F3 「自閉症スペクトラム障害の子どもの家族のためのペアレント・プログラムの実践」

柳川敏彦 (和歌山県立医科大学) 他

G0-F4 「自閉症スペクトラム障害の子どもの家族のためのペアレンティング・プログラムの実践 (第 2 報)」 平尾恭子 (関西医療大学) 他

9:00-10:00 : G0-G 「法制度」

G0-G1 「刑事事件, 少年事件から見える子どもへの暴力, 体罰」

森 保道 (子どもすこやかサポートネット) 他

G0-G2 「子どもへの暴力, 体罰の法的全面禁止に関する世界動向と子ども虐待への予防効果について」

田沢茂之（子どもすこやかサポートネット）他

G0-G3 『叩かない子育て』読者アンケートから見えてくるもの」高祖常子（子育て雑誌 Miku）他

G0-G4 「子どもへの暴力，体罰に関する若者としての意見（アンケート結果を踏まえて）」

石川真悠（大正大学）他

9:00-10:15 : G0-H 「行政・プログラム」

G0-H1 「イリノイ州における区別対応システム（Differential Response）実践における当事者参加への取り組み」畠山由佳子（神戸女子短期大学）

G0-H2 「ベトナムのストリートチルドレン問題から日本の子ども虐待問題へー市民社会による問題解決の可能性を探るー」吉井美知子（三重大学）

G0-H3 「MY TREE ペアレンツ・プログラムの多様な実践」澤谷厚子（共生会希望の家）他

G0-H4 「MY TREE ペアレンツ・プログラム（虐待する親の回復プログラム）における家族えん会議（日本型ファミリー・グループ・カンファレンス）の活用」

中川和子（MY TREE ペアレンツ・プログラム）他

G0-H5 「東京都世田谷区における要保護児童の親支援」氏家和子（東京都世田谷区子ども部）他

9:00-10:15 : G0-I 「虐待一般」

G0-I1 「虐待体験，自己への思いやり（セルフ・コンパッション）と，青年期のメンタルヘルス」田中正子（McMaster 大学（カナダ））

G0-I2 「過去及び現在の不適切な養育が与える子どもの虐待関連症状への影響」

水木理恵（国立成育医療研究センター）他

G0-I3 「ネグレクトされた子ども達の状況と背景」安部計彦（西南学院大学）

G0-I4 「障害のある乳幼児に不適切な養育が生じるプロセス」一瀬早百合（洗足こども短期大学）

G0-I5 「児童虐待に対する生活保護ケースワーカーの認識と家族支援」原 政代（和歌山県立医科大学）他

10:10-11:40 : G0-J 「児童相談所」

G0-J1 「児童相談所事例にみるネグレクトの状態像」佐藤涼子（北海道大学）

G0-J2 「要保護児童対策地域協議会設置後の子ども虐待防止活動をめぐる地域の変化」

鈴木 昭（新潟大学）

G0-J3 「親子分離から家庭復帰になったケースの復帰に先立つ親子の「交流回数」の研究」

佐藤和宏（神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所）他

G0-J4 「児童養護施設における精研式ペアレントトレーニングの実践」小平真希（東京都児童相談センター）

G0-J5 「児童相談所で活動する保健師の役割に関する一考察」中板育美（国立保健医療科学院）他

G0-J6 「虐待予防に実効性のある「見守り」の条件」田中良幸（東京都杉並児童相談所）

13:10-14:40 : G0-K 「児童福祉施設 1」

G0-K1 「被虐待施設乳幼児に対するアタッチメント・プログラムの効果について」

青木 豊（相州乳幼児家族心療センター）他

G0-K2 「被虐待乳幼児に対するアタッチメントに方向付けられた治療についての研究」

安部慎吾（唐池学園）他

G0-K3 「アタッチメント行動チェックリスト ABCL の作成と信頼性・妥当性の検討」

福 榮太郎（横浜国立大学）他

G0-K4 「児童自立支援施設入所前の被虐待体験と問題行動が入所後の情緒と行動に与える影響」

大原天青（上智大学）他

G0-K5 「児童養護施設における被虐待児の支援ニーズの類型と支援モデルの対応」大原天青（上智大学）

G0-K6 「東京都の機能強化型児童養護施設の導入とその影響」

水木理恵（国立成育医療研究センター）他

15:20-16:35 : G0-L 「児童福祉施設 2」

G0-L1 「社会的養護が持つシステムとしての冗長性とその有効性」大谷誠英（日本福祉大学）

G0-L2 「茨城県内の A 児童養護施設における ADHD 評価」立川弘司（筑波愛児園）他

G0-L3 「児童養護施設入所児童の逆境的小児期体験と行動特徴について」鈴木華子（熊本大学）他

G0-L4 「肢体不自由児施設における被虐待児の実態調査-調査 I」

米山 明（心身障害児総合医療療育センター）他

G0-L5 「肢体不自由児施設における被虐待児の実態調査-調査 II」

下山田洋三（愛徳医療福祉センター）他

○一般演題（ポスター）

13:10-14:40 : GP-E 「地域における子育て支援による虐待予防」

GP-E1 「地域の子育て支援を包括的に考えるー子育てひろばの虐待予防機能について」

谷向みつえ（関西福祉科学大学）他

GP-E2 「乳幼児の親の不適切なペアレンティング」宮澤純子（帝京平成大学）他

GP-E3 「母親が Circle of Security プログラムに参加した子どもの変化」岩本沙耶佳（甲南大学）他

GP-E4 「コーチングスキルを用いたマルトリートメント予防のためのプログラムの効果と課題」

松原三智子（札幌医科大学）他

13:10-14:40 : GP-F 「親子関係の再構築・親支援」

GP-F1 「家族再統合における施設心理士の役割」森 歩夢（立正学園）他

GP-F2 「東京都児童相談センターにおける PCIT（親子相互交流療法）の実践」

小平かやの（東京都児童相談センター）他

GP-F3 「児童養護施設における家族への心理的援助の実態」田附あえか（筑波大学）他

GP-F4 「児童家庭支援センター「どうしん」の 5 年間の歩みと今後の課題」

篠田直子（児童家庭支援センター「どうしん」）他

GP-F5 「自立支援プログラムにおける情報提供」三沢徳枝（創造学園大学）他

13:10-14:40 : GP-G 「児童福祉施設における子どもへの働きかけ」

GP-G1 「治療的養育を目指す児童養護施設の取り組みと評価の試み」徳山美知代（静岡福祉大学）他

GP-G2 「児童養護施設における『子どものからだところを守るグループワーク・プログラム』の試み」

越川直枝（千葉県中央児童相談所）他

GP-G3 「児童福祉施設の現状」江原勝久（内原深敬寮）他

GP-G4 「児童養護施設の自由時間を利用したアトワークを通じた支援の 1 事例」

三谷英子（青山学院大学）他

GP-G5 「被虐待体験を持つ幼児への対人トラブル軽減を目的とした支援について」

寺崎真一郎（旭川育児院）他

GP-G6 「子どもの人生をつなげること」中島 彩（千葉県スクールカウンセラー）他

13:10-14:40 : GP-H「児童相談所他」

GP-H1「児童福祉司の感じている業務遂行上の課題」永野 咲（日本子ども家庭総合研究所）他

GP-H2「神奈川県児童相談所における保健師業務の検討」彦根倫子（神奈川県中央児童相談所）他

GP-H3「大阪府中央子ども家庭センター一時保護所における精神科医師の関与の現状」

花房昌美（大阪府中央子ども家庭センター）他

GP-H4「児童の虐待死に関する文献研究」長尾真理子（子どもの虹情報研修センター）他

GP-H5「トラウマを抱える子どもへのアンガーマネジメント」駒村樹里（東京都児童相談センター）他